



# 会報



DISTRICT 353  
CLUB BULLETIN

創立 S34.6.9 承認 S34.6.27

## 鶴岡ロータリー

THE ROTARY CLUB  
OF TSURUOKA

う め

例会場 鶴岡市本町二丁目 ひ さ ご や  
例会日 毎週火曜日 PM 12:30 - 1:30  
事務所 鶴岡市馬場町 商工会議所内  
電話 0235 (2) 5775  
会 長 鈴 木 善 作  
幹 事 高 橋 辰 美

会報はご家族みんなで読みましょう

## Renew the Spirit of Rotary

ロータリーの精神を振るい起こせ

第 795 号 1975. 3. 11 (火) (曇) No.35

### ◆出席報告

#### 本日の出席

会 員 数	66名
出 席 数	47名
出 席 率	71.21%

#### 前回の出席

前回出席率	77.27%
修正出席数	60名
確定出席率	90.91%

### 欠 席 者

阿宗君、阿部(襄)君、早坂(徳)君、飯白君、石黒君、五十嵐(伊)君、鷺田君、嶺岸君、中江君、中野(清)君、齋藤(栄)君、齋藤(信)君、新穂君、佐藤(衛)君、進藤君、菅原君、鈴木(弥)君、高橋(良)君、津田君

### メークアップ

風間君—新潟東RC  
半田君、板垣君、嶺岸君、三井(徹)君、三井(健)君、中野(清)君、佐藤(順)君、手塚君—鶴岡西RC

### ◆ビジター

小林忠康君、加賀山隆士君—鶴岡西RC  
本間留芳君—温海RC

### ◆他委員会報告

### ◆職業奉仕に就いて

職業奉仕に関する話をしてくれと云うご依頼を受けました。丁度15年前、入会して間もなく、小花会長から“奉仕こそわがつとめ”の概要を紹介せよとのお話があって、少ししゃべりましたのが私の最初のスピーチであっ

- ◆点 鐘 12:30 鈴木会長
- ◆ロータリーソング 奉仕の理想
- ◆本日のビジター紹介 S.A.A
- ◆会長報告
- ◆幹事報告
- ◆会員スピーチ

職業奉仕に関して 早坂源四郎君

たかと思ひます。今日久し振りで、職業奉仕の話をする様になり、感慨深いものがあります。ご依頼を受けた時に、少し戸惑いました。戸惑いましたのは自己反省であり、果して皆様方に道を説く資格ありや忸怩たるものがあります。然しながらこの道は遠く険しいが共に進まねばならぬ道です。暫らくご静聴をお願いします。

職業奉仕は各個人が職場で実践すべきもので、クラブや委員会が実践するものではありません。あくまで個人が実践すべきものです。何故なれば、会員は一業一人の原則に基づいて、各々職場に於て、ロータリーを代表しているからです。従って今日のお話も私の実践した事例をお話するのが最も肝要かと思ひますが、誠に貧弱な経験しかございませんので、人様の事例とか、お話を使わせて頂きます事を先ずお許し願ひたいと思ひます。それで本日皆様におくばりしたパンフレット“企業経営観と其の事例”ですが、これは、米国の大企業のペニー商会社長と西独のP・Gの講演要旨でございまして、理想的なスピーチです。是非今晚でもお読み願ひたいと思うのでございまして。

さてロータリーでは実践を尊びます。

実践すると云う事は非常にキツイ事があります。あるバスターガバナーの話では、例えば好きな煙草を止める事だ。これは堅い決意と熱心な努力、不屈な忍耐があると説いて居られます。誠に同感ですが、私は仲々実行出来ません。

#### ロータリー精神を如何に適用するか

次に問題となる事は、私共の職場で如何に職業奉仕を実践するか、換言すれば如何にロータリー精神を、又四つのテストを私共の仕事に適用するかと云う事です。専門業者の方

公益関係の方々には比較的理しやうしい、例えば四つのテストに就いてドクター公認会計士や、新聞社の社長さんは、真実かどうか、公平かどうかはそのまま判断の基準として用いられますが、商工業者の場合には更に具体的な事例を求めて理解に努めねばならぬと思うのであります。

この点私は“奉仕こそ我がつとめ”は誠に名著と思ひますが、外国の事例の為毛嫌ひされます。又先般職業奉仕委員会が配布しました。神守さんの“ロータリーで云う職業奉仕”は誠に好評です。先ず翻譯物をも毛嫌ひせず併せて読まれて広く知識を吸収して頂く事が大切かと思ひます。

一昨年ガバナーとして公式訪問の節、私は努めて“四つのテスト”の好い事例はないかと思ひ探し求めましたが、仲々お話を頂戴する事は出来ず、むしろ逆にあるクラブの若い会員から、40年前に作られたハーバートテラーの“四つのテスト”がその当時とは経済環境が異なる現代の経営に果して適用し得るや否やと、色々な経済条件の差異を示され質問を受けた事があります。本日皆様に差し上げたパンフレットの中のペニー社のLaekson社長の講演は正にこの問題に対する回答でございまして。

昨年10月頃でしたか、高橋正太郎君と上野三郎君と“四つのテスト”で話し合った事があります。その時高橋君は彼の経営するリンネン・サプライズの職場で四つのテストをはって、従業員の不和を鎮めた話、又上野君からロータリー入会前に“四つのテスト”の文字に興味を引かれこの精神で組合関係を円滑に処理された話を聞きまして、私は青い鳥を求めて処々を歩き廻りましたが、案内青い鳥は吾々の身近にある事を痛感した次第で

す。話が余談になりますが、私がガバナー時代、会社の仕事を何一つも出来ませんでした。が、案外会社の業績が伸びました。勿論取引先の方々が色々心配されて、何くれとご配慮して頂きました事はありましたが、それにも増して従業員一同が己達がやるんだと云う何と申しませうか、自主管理方式が自然の内に行われ、又所謂権限移譲がスムーズに行われ今日に至って居ります。誠に人生とは面白いものだと感じ入る次第です。

### R・I会長の言葉

次に私が感銘を受けました R・I の会長の職業奉仕に関する言葉をお話申し上げたいと思います。

先ずカーター前会長は、一昨年国際協議会の席上で

“今日では設計図面に手を付ける前に“儲けはいくらか”が問題にされます。その昔職人気質で最高の品物を作り、最高のサービスを提供して、しかも適正な報酬で満足していた時代にあったものを、我々は取り戻す事は出来ないのでしょうか”と訴えられました。

彼は現代の大量生産方式による商品の品質の低下、そしてコンベヤシステムの流し作業による働く者の人間性の埋没の盲点を衝かれ、ロータリアンの奮起を求められたのです。そして、スウェデン、英、西独のロータリアンの人々が自由作業時間制、又職務拡大方式、自主管理等、働く人々の生き甲斐を求める事に熱心に取り組んでいる事を紹介されました。

本日おくばりしたパンフレットの中にも、西独ロータリアンがこの問題に触れて居られますし、又吾国の進歩的企業は既にこれを実施して居るのであります。

ヒックマン元会長の言葉で印象的なのは I have learned to listen. です。

これは職業奉仕で貴方は何を学ばれたかと云うロータリアン誌の記者の質問に答えられた言葉です。

彼は次の様に説明して居ります。

“私はこの事を自分の仕事から知ったのです。私共の業界(彼は写真製版)は組合運動が非常に強いのです。組合のリーダーと対座して新しい労働契約を相談する時等、勿論私は大声を出して暴言をはく様な事はしません。私は彼等の云う事に耳を傾けます。私が傾聴しているのを知ると、直ぐに彼等も又私の話の話を傾けるのです。そして私共は妥協の道を見付けるのです。傾聴しますと、驚く程他人の見解が分ります。雇主と従業員の関係、労働組合関係その他の事も凡て同じです。人の話を良く耳を傾けて聞くと、大地を足で踏みしめて立っている事です。

以上が私が職業奉仕から学んだ経験です。

I have learned to listen.

感銘深い言葉です。最後に、ロビンズ会長の言葉をお伝えします。

昨年来日された時の言葉です。彼は次の様な、米国の詩人エドウィン・マーカムの詩の一節を読まれました。

人は いろいろな 営みをなすが

いかなる営みとは云え

もしそれが、営む人の人づくりに貢献しなければ

それは意味のないことであろう。

またいかに、美しい盛んな都市を築き上げて

もしその都市づくりに携わる人々自身が成長せず、強化されなければ

それは何とむなしい努力であろうか。

彼はロータリアンが多数の中に、群象の中に埋没して隠れて了う事を強く戒しめ、あくまで人づくりによってロータリー精神を奮い

起す事を求められたのであります。彼の云う人づくりとは、先ず吾々自身であり、更に吾々の職場の人々であり、地域社会の、特に若い人々をも含むものと思います。

以上 R・I の会長の職業奉仕に関連ある言葉を拾い出してお伝え申し上げます。

既にお分りの様に、職業奉仕は如何に吾々の日常の仕事にロータリー精神を適用し、実践するかであります。言うは易く、行は誠に難しい場合が多いかと思ひます。特に昨今の経済状況は私共に多大の困難と不安を与えて居ります。然し私共は、ロータリーを信じロータリーに熱情を持って、大いなる勇猛心を持ってこれを乗り越えて行かねばなりません。私は今日程、アーサー・シエルドンの **He profits most who serves best** の標語が単なる標語で終る事なく、事業経営者の実践哲学であらねばならぬと思ひて居ります。

ロータリアンの経営者から一人の落伍者をも出さぬ様、お互いに激励し、切磋琢磨の要を強く感じます。その意味におきまして当クラブの職業奉仕委員会が、先般アンケートをお出しになりました事に深く敬意と感謝の意を表して居ります。

私は職業奉仕委員会が、討論会、ファイヤーサイドミーティングを開催され、事例の発表と研究をせられると共に、更に進んでは、現在の不況に如何に対処するか、ロータリアンに対する事業上の援助と助言を与えるための委員会の設置の要なきや等を至急考究されます事をお願いしまして、スピーチを終りたいと存じます。

## 退 会 届

私儀

今般 4 月 1 日付人事異動により函館支社勤務を命ぜられ、鶴岡営業所から離任いたします。

つきましては 3 月末日を以て当クラブを退会しますのでお届けします。

昭和 50 年 3 月

鶴岡市山王町 1-38  
明治生命保険相互会社  
山 本 隆 男

鶴岡ロータリークラブ  
会長 鈴木善作 殿

スピーチ等には要旨で結構ですので、原稿を会報委員会にお渡し下さいます様重ねてお願い致します。御協力下さい。